



「子どもたちに平和な未来を 2023」 を開催しました！

8月5日（土）に「子どもたちに平和な未来を 2023」を4年ぶりの対面で開催しました。「子どもたちに平和な未来を」は千葉県生協連が事務局となり、千葉県内の4つの地域生協（パルシステム千葉・コープみらい・生活クラブ・なのはな生協）による実行委員会形式で開催され、子どもたちに「平和の大切さ」と「核兵器の廃絶」を訴える取り組みを毎年おこなっています。

今年は「ぼくはジェーニャ 11歳 一緒に平和の事を考えよう！」と題して開催されました。講師は、ロシアによるウクライナ侵攻のため、2022年3月に、母、祖母の3人でウクライナから避難し、現在千葉市内の小学校に通う6年生のパンコーヴ エブゲン（愛称：ジェーニャ）君です。

はじめに高橋実行委員長（パルシステム千葉理事長）が、本企画の主旨について説明をおこないました。



高橋実行委員長



話をするジェーニャ君

講演会ではジェーニャ君が作成した、「ウクライナについて」という資料をもとに話を進めました。ウクライナの位置や国旗の色、郷土料理や民族衣装、住んでいたキーウのまちなど、説明がありました。次に日本とウクライナの学校の違いについて比較しながら話があり、参加者からはウクライナの学校が羨ましいという声があがりました。そして、ロシアによる軍事侵攻は始まってからの地下室での家族との避難生活や、国外へ避難する様子や日本に到着してからの生活など、写真や現地で撮影したビデオなど観ながら話してくれました。

ジェーニャ君の話を聞いて感じたこと思ったこと（アンケートより）

・地下室ではやることなくて自分なら1日で限界。戦争って辛いことだ。・ウクライナは戦争前はとてもいい国だと思った。ひまわりや小麦畑がとてもきれい。プーチンさんはなんで戦争をしたの？・ジェーニャ君はウクライナにいた時、とても大変だったと思う。ビデオで地下室に住んでいたのがびっくりした。・ウクライナの学校は日本に比べてルールが少なくいいな。・学校や幼稚園を攻撃するのはダメだと思った。・戦争で、同じ人間をなぜ殺し合うの？・戦争は他人事だと思っていたけど、戦争の中生活していた人が話をしてくれて「平和って大切!」と思った。・1年前は、この戦争が僕たちには関係ないから何にもしなくていいやと思っていたけど、ジェーニャ君が話したことを聞いてジェーニャ君はすごいと思った。・一緒に地下室にいた子どもも助かってほしい。・戦争はひどい。戦争はこわい。・実際にどのようにして日本に来たのか知ることができた。動画や写真で避難生活が大変なのが伝わった。早く平和な世界になるといいなと思った。・ウクライナの事はニュースで少し見るくらいだったけど、ニュースではわからない事がたくさん知れてよかった。・戦争は本当にやってほしくない。みんなの平和を守れないので戦争はやめてほしい。

○グループワークでは、ボランティアの学生と一緒に、ジェーニャ君の話を聞いて感じたことや平和について考えたことを話し合い、またウクライナカラーのミサンガやハート型の入れ物などを作りました。

○平和だと思ふときって？

- みんながつながったり助けあったりしたとき。
- みんなが楽しくうれしいとき
- 学校の昼休み、みんなで遊んでいるとき
- お菓子とかゲームができてるとき
- 親やナカをしらないとき

○誰かに伝えたいと思ったことはありますか？

- お友達に戦争はよくないって伝えたい。お友達が大人になっても伝えたい。
- 戦争は絶対によくないと教えたい。戦争ごっこもやらない方がいいと教えたい
- ウクライナの戦争で地下室に逃げていたこと
- 日本の学校とのちがい

○平和のためにできることは？

- 1つ1つの国にして大統領を1人にする
- ほかの人の意見を理解する
- 寄付や募金

○その他

- ジェーニャ君と直接話せてきて楽しかった
- お姉さんとお話できて楽しかった
- ミサンガ作りが楽しかった。

グループワークの様子



最後にジェーニャ君のお母さんのオルガさんから、「ロシアによる軍事侵攻は、8月24日で1年半になりますが、ウクライナでは多くの一般の人が巻き込まれ傷ついています。またウクライナ以外でも世界ではテロや戦争が起こっています。戦争が続くことは君たちの将来の世界を脅かすことになるかもしれません。だからこそ、世界で起こっていることに興味を持ち、平和のために何ができるかを考え続けていってください。また自分だけでなく、世界中の人々が幸せに暮らせることを願ってほしいです。」とメッセージがありました。



**タチアナさん(祖母) ジェーニャ君 オルガさん
参加者、学生ボランティアのみなさん**